



南和会創立五十周年記念

乾杯によせて

施設長 有馬喬

今年の干支は戊戌（つちのえいぬ）犬の年です。戌の縁起は親しみ深い社会性を持ち、忠実に勤勉努力する意を含めて、今年の銘題を「社縁と献身」と銘命し、この一年間の目標にしました。

要旨は、

人間社会には職場は多種ありますが、人の命に関わる仕事に就業出来るのは、最も誇りの持てるものと思います。

「その職場で働いてよかつた」と言える事があればとてもいいと思います。

又、その家族に理解があり、援助があり、生活の中に喜せを感じなければなりません。そのためには国の制度改革もあり、南和会としての経済的な配慮も必要です。更に、

今年の気象として四月頃から暑い日あり、五月二十八日には、昨年より十日早く梅雨入りとなり、既に台風5号7号と豪雨災害を齎し、政治も経済も不安定で、米朝会議も未だにすつきりせず、特に日本の最悪の拉致問題も蚊帳の外の惨めな姿が流れて侘しい限りです。

さて、六月二十三日は、南和会創立五十周年記念祝賀会が盛大に催され、不肖私が乾杯の音頭を取る栄誉を受けました。

平成30年8月号

岩国市由宇町千鳥ヶ丘1-1-1
特定医療法人 南和会
老人保健施設 みどり荘
<http://www.nanwakai.jp/midorisou>



「その前に一言」と申し上げたと同時に、昭和四十三年の初年の頃に、重田キミ子さんと数名、大和病院長宅の私にわざわざ挨拶に来られ、「今度、由宇町に精神病院を設立します。よろしくお願ひします。」と。時の流れが走馬燈のように。平成の年、大和病院を定年退職したのが六十五歳、多くの仲間（医師）から「何か職を。待けるよ」と。縁は不思議な物、平成五年四月、まさか周洋病院（現千鳥ヶ丘病院）に就職、内科外来開設、南和会顧問と元理事長二宮淳明先生、専務中田亮次氏より厳命されました。その後、みどり荘に転職しても、中田専務は頻繁に来荘され、「南和会の将来に是非ビジョン残されて」と進言し続けられましたが、今はおられなくて残念です。浅学な顧問として進言した内容が乾杯前の要旨に継っているように思えます。その要旨は、

地域との連携、全ての皆さんの協力も必要でしよう。南和会はそれを真剣に考慮する事が大切です。加えて、その底辺には常に、報恩感謝の念を含まなければなりません」と。

【乾杯の音頭の前の一言とは】

南和会創立五十周年を祝し、御来賓の皆様並びに南和会職員一同と御家族、更に地域の全ての方々に敬意と感謝を込めて、声高らかに乾杯！と。

あの世の中田専務も、頷きながら微笑されるかも。

みどり荘の職員にも心に感じるものがあったと思います。

献身の気があるとして、決して自己犠牲を求めるものではなく、自ずから納得出来るケアでなければならない。何れも介護施設として本来の目的、在宅復帰は主目標としても稼働率の向上なくして復帰の途は厳しいものであることを肝に銘じて、健全経営の一手段となればよい。

拙い私の卓話もこの八月で238回に成りました。

この度の五十周年の記念祝賀会と私の卒寿が同一されたのも嬉しく、今年の銘題「社縁と献身」も偶然とは言え、その意に対し職員一同、精一杯精進させて戴きたいと念じています。

茹るような暑い夏に負けないで。



医療法人南和会 創立五十周年記念式典祝賀会

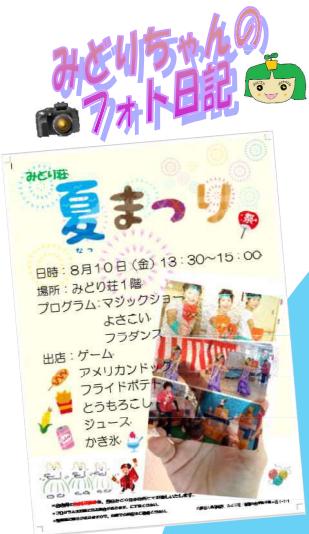
平成30年6月23日（土）岩国国際観光ホテルにて、医療法人南和会 創立50周年記念式典・祝賀会が盛大に開催されました。

式典では永年勤続者の表彰も行われ、みどり荘からは吉村聖二さんが代表して舞台にあがりました。

また、祝賀会では、有馬施設長のご発声による乾杯に始まり、余興では岩国太鼓保存会様による太鼓の演奏や、ものまね芸人の『勇次』さんが♪「乾杯」などの歌マネを披露してください、大いに盛り上がりしました。その後、豪華な景品が当たる抽選会も行われました。

みどり荘からも多数の職員が参加し、他病院・施設・事業所等との交流も深めることができ、とても有意義な時間を過ごしました。







新人職員紹介

小笠 園佳

★小笠 園佳（おがさ そのか）
作業療法士
宮崎の高千穂のそばで生まれ育ち、山梨の富士山の麓で勉強をしてきました。山口県は初めての場所になりますが、岩国は海や川が近いので、魚つりをはじめたいなあと思っています。
趣味は、インターネットで動画を見たり、お酒を飲みに出かけることです。
31歳、恋人大募集中です♡



龜島 明美

よろしく
お願ひます

★龜島 明美（かめしま あけみ）
理学療法士
ただいま二人の子育て奮闘中😊
趣味は歌うこととお菓子作りです。
みどり荘のご利用者様と一緒に、笑顔で元気に過ごせるよう頑張ります！
よろしくお願ひいたします。

永年勸業表彰

ほつと一息

平成三十年七月豪雨の被害に遭われた
皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。
一刻も早い復旧・復興をお祈り申し上げ
ます。

さて、私は運動が大嫌いです。休みの日はとにかく動かないように過ごし、万歩計の歩数は100歩に満たない日も。そんな生活を送っていると体の機能が年齢と共に落ちていくばかり。

そこで一念発起！何を血迷ったか、11月に開催される下関海峡マラソンにエントリーチarityいました。そして毎日ウォーキング＆ジョギングを頑張りました。

そして一週間後……。膝が痛くて痛くて、薬がないと歩けない状態に。そんな中、南和会50周年記念行事があり、みどり荘美女サークルの活

動としてチアガールを披露しました。その翌週に迎えた〇歳の誕生日には、杖を片手にカープ観戦に行つてきました。痛み止めを飲みつつの応援でしたが、はしゃぎまくっていた私。なんと、公式ホームページにしつかりと写真が載っていました。足は痛いけどカープも勝ったし、とてもいい誕生日になりました。

現在、膝の痛みはほとんどあります。が、ジョギングは再開しています。マラソン大会の行く末はどうなることやら……。

【題字】 中田亮次著
【編集委員】 植田 松田 新井